

2023 オアシス応援地球志民学校「共育の場づくりに」



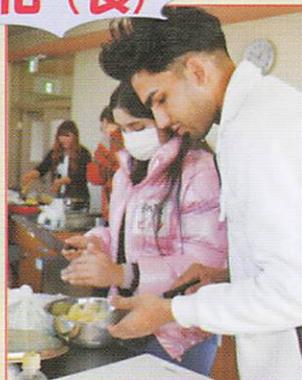
2023年度「オアシス応援 地球志民学校」は、1月27日第7講座「母国の料理自慢 会食して交流会」を本年度の最終講座として盛会裡に終えることができました。

本講座には、中国・スリランカ・ベトナム・ネパール・フィリピンの青年15名の参加のもと、母国料理の調理を始め、交流会での司会進行もベトナム・フィリピン代表者が行うなど、これまでの受け身の講座から、彼ら自らの手作りの会へと一歩前進しました。

講座を重ねるごと、日本語を肌感覚で身に着けると同時に日本の生活文化への新たな気づき、さらには国境を越えての友達づくりに活路の見える取り組みとなりました。



多文化（食）



第7講座での「母国メシ紹介」

【フィリピン】シシグ（豚肉料理）

【スリランカ】ククルマステビル

（超激辛肉炒め）

【ベトナム】揚げ春巻き、生春巻き

【中国】チンジャオロース、トマトと

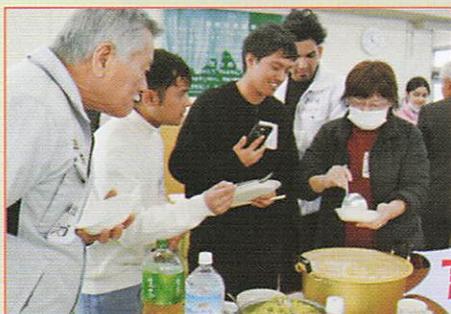
卵の炒め物

【ネパール】キール（甘いミルク粥）

アチャール（ポテトサラダ）



友達



言語感覚

2023年度の「オアシス応援 地球志民学校」全7講座への参加者は、中国・スリランカ・ベトナム・ネパール・フィリピン・ミャンマー・バングラディシュ・ペルー計8か国より延べ人数72人、内6講座への参加者も2人など熱心、盛況。豊橋日本語学校生徒の皆さんには一部参加を控えていただく結果となり、今後の課題となりました。

講座のメイン会場としては、常時蒲郡市小江公民館が借りできたこと、そして、オアシス社員の皆さんの社会活動（仕事）に相乗りさせていただけたことなど、関係者の皆様に感謝いたします。



2次カンボジア支援活動スタート【第1次：2009～2019 シェムリアップ州での活動期間】

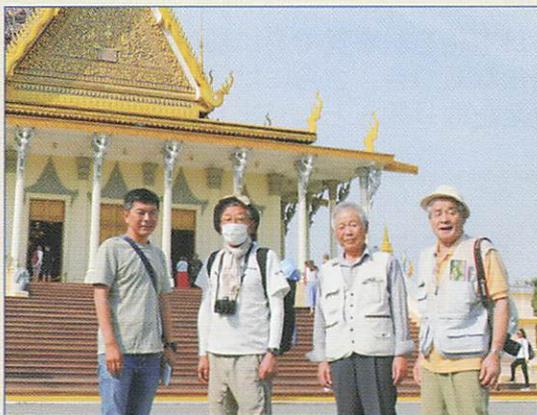
第2次カンボジア支援活動の開始にあたり、去る1月20日より1月26日まで、短期ではありましたが先遣隊として6名のメンバーがカンボジアの首都プノンペンを訪問しました。現地での人脈を辿りつつ、現地在住の教育関係者や企業関係者との情報交流、さらには学校参観など、断片的ではあるものの「カンボジア教育の今」を垣間見ることができました。

プノンペンの訪問は3度目となるものの、以前12年前とは別物の都市へと変貌していました。また、経済の飛躍的成長と同時に格差社会が急速に進行している様子を目の当たりにしました。

(記：足立泰敏)

ローカルがグローバルに
グローバルがローカルに

グローバル社会への道しるべ



私たちが
とらえるグロー
バル社会

自国地域で培った生活文化や教育実践成果を外国において伝播・共有すると同時に、逆の流れも受け入れつつ、両者の特質が国境を越えより有用的に結びつく国際社会

参観校紹介

- ①ノロドム小学校（大規模校）：プノンペン中心市街地
・午前公教育、午後一部私学教育（有料年\$500）
・JICA支援のICT教育（希望者有料）
・学校運営の課題としての教職員の高齢化
- ②バコウ小学校（児童1200名）：農村地域、広い学区
・始業前清掃活動（6:30～7:00）
・図書館の建設希望、保健室の存在「運用不十分」
・校長を始め教職員が若い（27/33人、40歳以下）



SDGs 推進事業 17「パートナーシップ
で目標を達成しよう」

寄付金募集：1口3,000円

国内外を問わず多様な可能性に挑む人たちの「志」の具現化を助け、生活・教育・技能支援を行います。

《募金先》特定非営利活動法人オアシス

郵便為替：00840-8-123690

